



平成29年度
川崎市多摩川プラン
実施事業報告書

多摩川は今

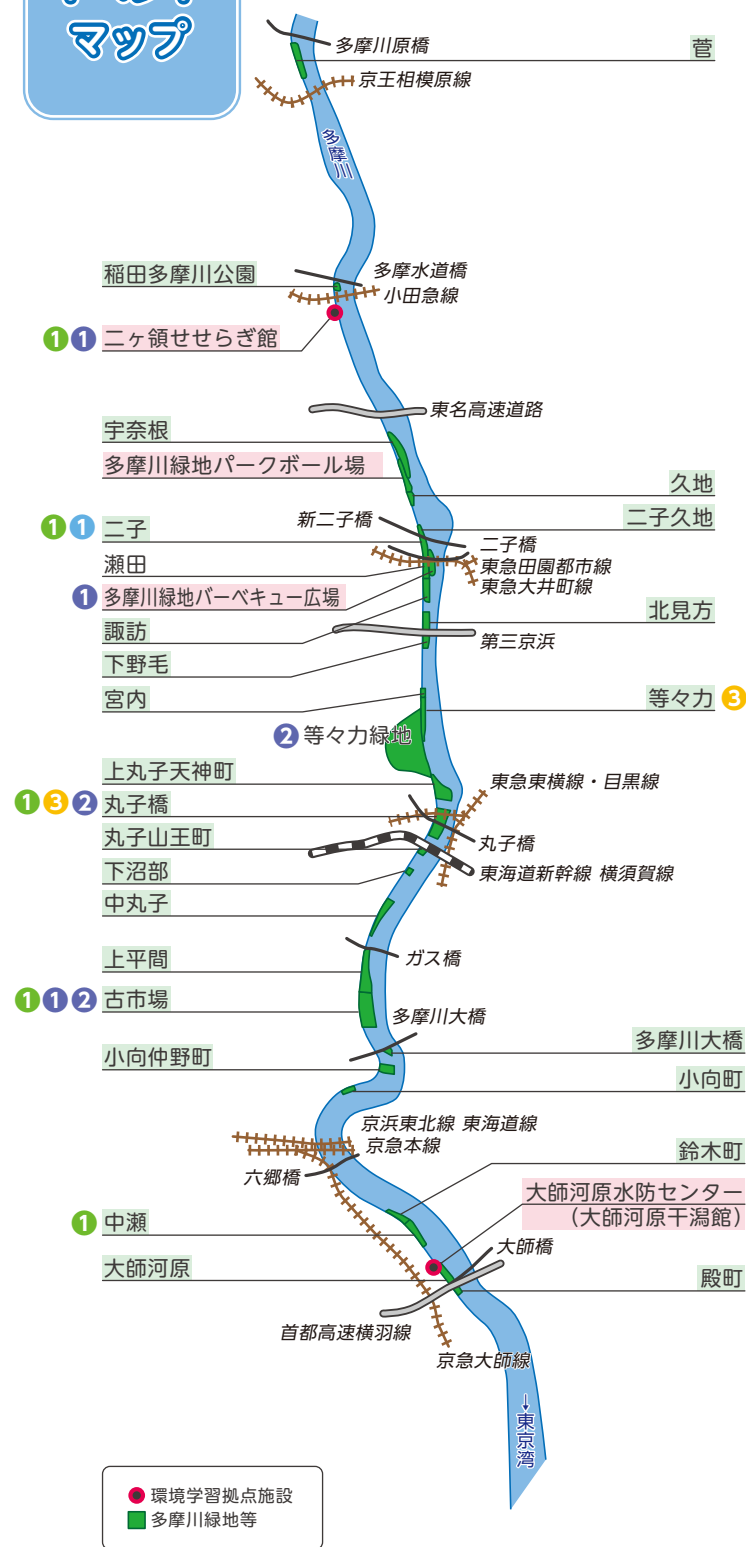
平成29年度
川崎市多摩川プラン
実施事業報告書



川崎市



イベント
マップ



表紙の写真

ハマダイコン(アブラナ科ダイコン属)

4~6月に白色や淡い紫色の花を咲かせ、堤防一面を美しく飾ります。多摩川大橋付近から、第三京浜付近までの堤防法面に多く見ることができます。

目次

I.自然と調和した美しい多摩川へ

- ① 多摩川美化活動の推進 1ページ

II.多摩川を知り 災害から市民を守る

- ① 治水事業による治水安全度の向上 2ページ
② 水防訓練の実施 2ページ
③ 水辺の安全事業の実施 3ページ

III.子どもの生きる力を育む場を創造

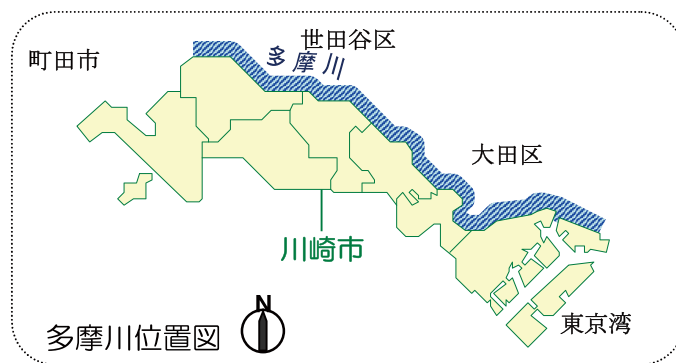
- ① 「渡しの復活」事業の推進 4ページ
② 研究所等の施設を用いた環境セミナーの実施 5ページ
③ 水辺の楽校の活動支援 6ページ

IV.多摩川とともに歩む みんなの暮らし

- ① 上平間・古市場地区周辺の施設の再整備 7ページ
② 駐車場施設の拡充 8ページ
③ 運動施設やマラソンコースの補修 9ページ
④ サイクリングコースの整備 10ページ
⑤ 簡易水洗トイレの整備 11ページ
⑥ 多摩川緑地バーベキュー広場の適正管理 11ページ

V.つながりを深めて魅力的な流域へ

- ① 市民・企業・学校・行政の活動交流 12ページ
② スポーツ大会等の開催 13ページ
③ 拠点施設を活かした情報発信 14ページ



I.自然と調和した美しい多摩川へ

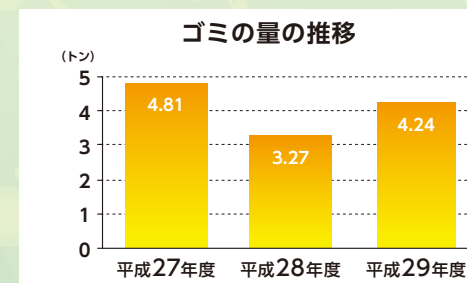
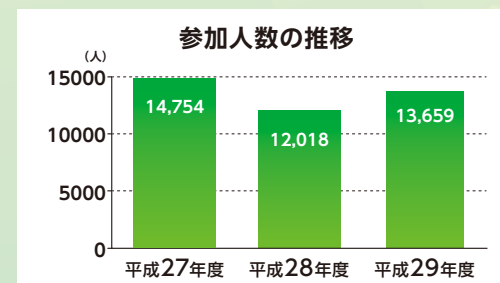
都市における貴重な水と緑のオープンスペースである多摩川は、都市景観を形作る主たる要素となっており、市民の記憶に残る風景となるよう、より自然豊かな多摩川の再生を推進しています。

① 多摩川美化活動の推進

子どもたちを中心とした多くの市民の参加により、母なる川多摩川を「きれいに」「よごさない」「親しまれる川」をスローガンに今年度も実施されました。

○第39回(平成29年度)多摩川美化活動 (主催:川崎市市民文化局市民活動推進課)

- 1 実施日
平成29年6月4日(日)
- 2 集合場所
多摩区・麻生区……二ヶ領宿河原堰付近河川敷
高津区・宮前区……新二子橋付近河川敷(中央会場)
中原区……丸子橋付近河川敷
幸区……古市場陸上競技場付近河川敷
川崎区……中瀬河川敷
- 3 参加人数
164団体…13,659人
- 4 ごみの量
ふつうゴミ……3.91 t
空きカン……0.26 t
空きビン……0.07 t
計4.24 t



自然と調和した
美しい多摩川へ

多摩川を知り
災害から市民を守る

子どもの生きる力を
育む場の創造

多摩川とともに歩む
みんなの暮らし

つながりを深めて
魅力的流域へ

Ⅱ.多摩川を知り 災害から市民を守る

全国的な水害の発生を踏まえ、防災に関する情報の必要性を再認識し、市民の防災教育を推進するとともに、災害時に迅速に対応できるよう河川敷を利用した防災訓練を推進しています。また、国と連携し、市街地の安全を守るため堤防等の整備を促進しています。

① 治水事業による治水安全度の向上

近年、気候変動などに起因する局地的集中豪雨や台風の大型化による洪水が全国的に発生し、多くの被害をもたらしています。多摩川流域においても、市民の命と財産を守るため、更なる治水安全度の向上を図る必要があり、堤防・護岸の整備が実施されています。

○国土交通省による堤防整備(川崎市域)



- ①幸区東古市場地先:既存堤防の拡幅及び護岸の整備を実施
- ②中原区中丸子地先:既存堤防の拡幅及び護岸の整備を実施
- ③多摩区堰一丁目地先:既存堤防の拡幅及び護岸の整備を実施

② 水防訓練の実施

台風や局地的集中豪雨等による水難事故及び風水害に備えて、防災関係機関の連携・協力体制を充実強化することを目的とした訓練を各区ごとに実施しています。(一部は多摩川河川敷以外で実施)

訓練内容

水防資器材の取り扱い、水防工法訓練、水難救助訓練

参加者

消防署、消防団、区道路公園センター等



水難救助訓練



水防工法訓練

③ 水辺の安全事業の実施

一旦事故が起こると、命に関わる重大事故となる可能性が高いのが、水難事故の特徴です。水辺で安全に楽しく遊ぶため、川の危険箇所などの知識や身を守る方法を学習する場として、川流れ体験を行っています。

○川の安全教室(主催:とどろき水辺の楽校)

- 1 開催日
平成29年5月14日(日)、平成29年9月24日(日)
- 2 開催場所
中原区等々力河川敷(5月)、中原区丸子橋河川敷(9月)
- 3 参加人数
約45名(5月)、約30名(9月)

ライフジャケットの着用方法、川で流されてしまった時の受身の姿勢や、救助方法を体験しながら、楽しく学びました。



Ⅲ.子どもの生きる力を育む場の創造

多摩川は、都市にある貴重な環境資源となっており、古くから市民生活と深く関わり歴史や文化を築いてきました。多摩川での体験や環境学習などを通じて、知識や経験を伝承するため、子どもたちの豊かな心と身体の育成を目指しています。

① 「渡し」の復活」事業の推進

人の往来や作物の運搬のため多摩川には数多くの渡し場があり、その流域は一体の文化圏となっていました。市内には約20箇所に渡し場があったとされ、その文化・歴史を後世に伝えるとともに、地域や対岸との交流の場として、「渡し」を行っています。

○二子の渡し体験(主催:高津区役所地域振興課)

- 1 開催日
平成29年11月3日(金)
- 2 開催場所
二子神社境内(高津区二子1丁目4-1)
- 3 来場者数
約450名

台風による増水の影響で、渡し舟の乗船体験は中止になりましたが、二子の渡しの紙芝居、鮎のぬいぐるみの絵付け体験、ストーンペイントのほか、鮎の塩焼きや多摩川鍋が振舞われるなど、多摩川を楽しめるイベントとなりました。



紙芝居の様子



多摩川鍋

※10月29日(日)の丸子の渡しの祭りは、台風の影響で中止となりました。

② 研究所等の施設を用いた環境セミナーの実施

川崎市環境総合研究所の環境教育の一環として、研究所の調査・研究成果や科学的知見及び立地条件を活かして、子どもたちや市民を対象に実施しています。野外での生物観察・調査を通じて、環境に関心を持ち、理科の楽しさや面白さを伝えることを目的にしています。

○多摩川河口干潟の生きもの観察会(全8回) (主催:川崎市環境総合研究所)

- 1 実施日
第1回 ……平成29年5月27日(土) 第5回 ……平成29年7月23日(日)
第2回 ……平成29年6月10日(土) 第6回 ……平成29年8月9日(水)
第3回 ……平成29年6月25日(日) 第7回 ……平成29年8月22日(火)
第4回 ……平成29年6月09日(日) 第8回 ……平成29年9月18日(月)
- 2 場所
川崎市環境総合研究所(川崎区殿町3-25-13)
多摩川河口干潟(川崎区殿町3丁目地先)
- 3 参加人数
383人(子ども190人、大人193人)
※8回の延べ人数

「干潟ってなんだろう?」や「干潟の生きものと巣穴」などをテーマに、講義と干潟での生きもの採取、観察等を行いました。



③ 水辺の楽校の活動支援

水辺の楽校は、国土交通省が文部科学省、環境省と連携して進めているプロジェクトで、水辺をフィールドに子どもたちが川に親しむ自然体験活動を推進しています。川崎市内では3校が活動をしており、川崎市はその活動のサポートをしています。

○かわさき水辺の楽校(拠点:多摩区ニヶ領せせらぎ館)

全12回活動、延べ432人が参加しました。

詳しくは、[かわさき水辺の楽校](#)

[検索](#)



○とどろき水辺の楽校(拠点:中原区等々力地先河川敷)

全13回活動、延べ2,322人が参加しました。

詳しくは、[とどろき水辺の楽校](#)

[検索](#)



○だいし水辺の楽校(拠点:川崎区大師河原水防センター)

全13回活動、延べ468人が参加しました。

詳しくは、[だいし水辺の楽校](#)

[検索](#)



それぞれの活動のほか、6月に3校合同での干潟観察会や、1年間の活動の発表の場として2月に多摩川水辺の楽校シンポジウム川崎を開催しました。



多摩川水辺の楽校シンポジウム川崎

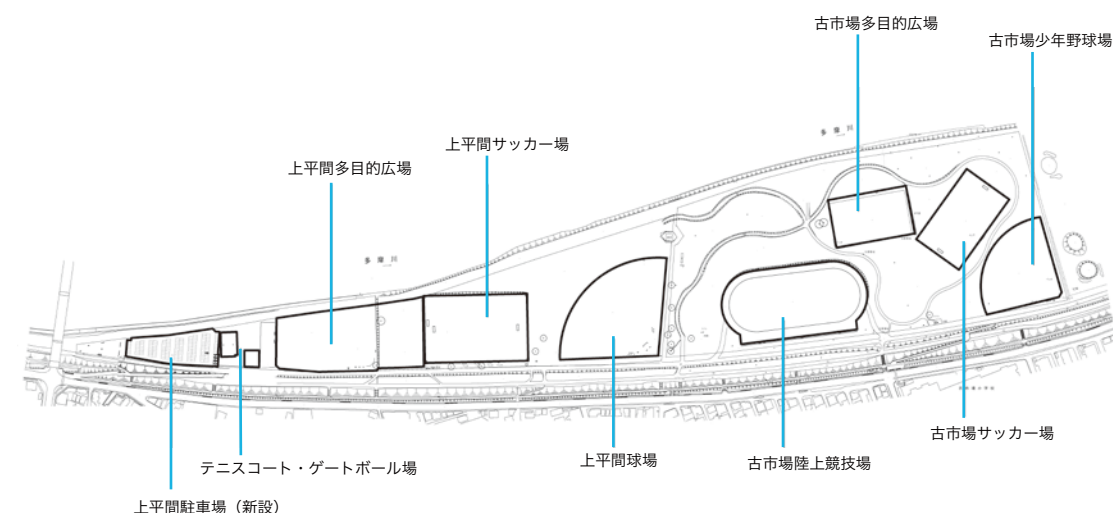
Ⅳ.多摩川とともに歩む みんなの暮らし

誰もが利用しやすく、過ごしやすい多摩川を目指して、サイクリングコースやバーベキュー場、運動施設などの整備を行っています。

① 上平間・古市場地区周辺の施設の再整備

運動施設利用における市民ニーズの変化に対応するため、既存施設の最適化を進めています。今年度から5箇年かけて、当地区の各施設の再整備を進めていきます。

○上平間・古市場地区周辺施設一覧



再整備スケジュール(予定)

平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度
上平間駐車場 (新設)	上平間球場	上平間 多目的広場	上平間 サッカー場	古市場 陸上競技場
古市場サッカー場	テニス・ ゲートボール場	古市場 多目的広場	古市場 少年野球場	

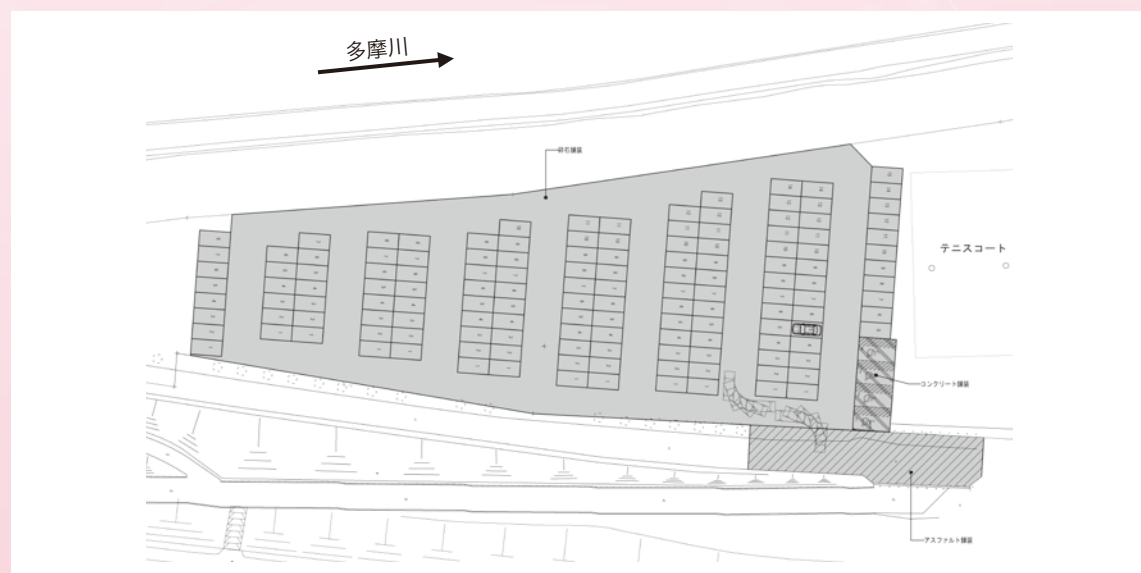
各施設の再整備については、地元町会や利用団体のご意見を踏まえ、配置は現状を維持した上で、より快適に利用していただくため、排水機能の改善やグラウンドの補修を実施していきます。

② 駐車場施設の拡充

多摩川へのアクセス向上を図る取組として、階段や坂路の整備、駐車場施設の拡充を進めています。

○多摩川緑地上平間駐車場整備工事

既存の駐車場は40台程度の収容台数となっており、利用者の需要を満たせていないことから、既存駐車場より上流側に146台の駐車場を新設しました。また、新規整備に伴い身障者用駐車スペースも4台整備しました。



上平間駐車場整備図面

③ 運動施設やマラソンコースの補修

河川敷の運動施設やマラソンコースなど、多くの利用者が安全で快適に利用していたため、施設の補修やグラウンド等の凸凹を解消しています。

○鈴木町第2広場バックネット更新工事

古くなり、支柱のサビなどが目立つバックネットを更新しました。



完成イメージ

○マラソンコース第8期補修工事

経年劣化や、大雨などの影響で傷んだ箇所を順次補修しています。今年度は、高津区下野毛地区を補修しました。



○古市場サッカー場補修工事

上平間・古市場地区再整備の一環として、ダスト舗装の表層補修や、排水機能改善のため素掘り側溝の設置を行いました。また、利用者のご要望に応え、フィールド部分の拡幅も行いました。



完成イメージ

④ サイクリングコースの整備

平日には通勤・通学路、休日にはサイクリングや散歩と、多くの人に利用者がいるサイクリングコースを、さらに便利に、安全に利用してもらうため、延伸や拡幅、路面標示の整備を実施しています。

○延伸整備

今年度は、多摩区菅稲田堤の京王相模原線鉄道橋付近から下流の、約600m区間において舗装を行いました。これで、稲城市への接続まで、多摩区布田橋付近の橋梁と坂路整備のみとなり、平成30年度末の完成に向けて取り組んでいきます。

○拡幅整備

今年度は、高津区北見方の第三京浜付近から下流の、約240m区間において、幅員2mから3mに拡幅整備を実施しました。今後も、狹隘区間の拡幅を順次進めていきます。

○路面標示

今年度は、多摩区・高津区・中原区の6箇所に「ゆっくり走ろう」等の注意喚起の路面標示や、「歩行者優先」「左側通行」の路面シートを設置しました。また、バーベキュー広場とパークボール場付近のサイクリングコース上に、AED設置の路面シートを設置しました。



AED設置標示路面シート



路面標示シート「歩行者優先」



注意喚起標示「ゆっくり走ろう」

⑤ 簡易水洗トイレの整備

誰もが快適に利用できる多摩川を目指し、現在配置されている汲取り式トイレを簡易水洗トイレに更新しています。

今年度は高津区下沼部地区に1基、幸区古市場地区に1基を整備しました。



汲取り式トイレを...



簡易水洗トイレに！！

⑥ 多摩川緑地バーベキュー広場の適正管理

指定管理者による施設の適正管理のもと、施設周辺の迷惑行為防止はもちろんのこと、地元貢献事業により地元への還元にも取り組んでいます。

○二子新地商店街マップ



指定管理者による地元貢献事業として、バーベキュー広場周辺の商店街マップを作成しました。

V.つながりを深めて魅力的な流域へ

流域自治体や市民、活動団体、企業、学校など、多様な主体が協働・連携することで、流域全体の交流を促進し、多摩川の魅力向上に向けた取組を推進しています。また、地域の特性を活かしたイベントを開催し、市民のふるさととなる川づくりを推進しています。

① 市民・企業・学校・行政の活動交流

多様な主体が多摩川づくりに参画できるよう、市民から行政まで、多様な主体の協働による取組を推進しています。

○水辺で乾杯 in 川崎 (主催:まちづくり活動団体、多摩川緑地バーベキュー広場指定管理者など)

- 開催日**
平成29年7月7日(金)、8日(土)※ニヶ領宿河原堰付近河川敷会場は8日開催
- 開催場所**
多摩川交流センター(幸区東古市場1230-2)
多摩川緑地バーベキュー広場(高津区瀬田地先)
ニヶ領宿河原堰付近河川敷(多摩区宿河原地先)
- 参加者数**
約200人

「水辺で乾杯」とは、国土交通省が提唱するミズベリング・プロジェクトの1つで、川の日である7月7日の午後7時7分に身近な水辺に集まり乾杯をして、感じた気持ちをシェアしよう、という水辺を粋に楽しんでもる風流な社会実験です。

川崎市では、地元商店街やまちづくり活動団体、企業等と連携して乾杯の拠点となる「乾杯スポット」を設定し、水辺に赴くきっかけづくりを行いました。



多摩川交流センター



多摩川緑地バーベキュー広場



ニヶ領宿河原堰付近河川敷

② スポーツ大会等の開催

多様な主体が多摩川づくりに参画できるよう、市民から行政まで、多様な主体の協働による取組を推進しています。

○多摩川カヌー教室(主催:川崎市市民スポーツ室、とどろき水辺の楽校)

- 開催日**
平成29年8月6日(日)
 - 開催場所**
中原区丸子橋付近河川敷
 - 参加人数**
102名
- カヌーの操作方法や、水上事故に遭った際の救急法などを学びました。



○川崎国際多摩川マラソン(主催:川崎市市民スポーツ室、川崎市スポーツ協会)

- 開催日**
平成29年11月19日(日)
- 開催場所**
等々力競技場(拠点)
多摩沿線道路及び多摩川マラソンコース
- 参加人数**
6,569名



多摩川マラソンコースや多摩川沿いの道路を走る人気のマラソン大会です。今年もたくさんのランナーが参加しました。

○多摩川リバーサイド駅伝 in 川崎 (主催:川崎市市民スポーツ室、川崎市スポーツ協会)

- 開催日**
平成30年3月18日(日)
- 開催場所**
等々力競技場(拠点)
多摩沿線道路及び多摩川マラソンコース
- 参加人数**
6,600名(予定)



子どもから大人まで、誰もが楽しめる駅伝大会です。今年もたくさんのチームが参加しました。

自然と調和した
美しい多摩川へ多摩川を知り
災害から市民を守る子どもの生きる力を
育む場の創造多摩川ともに歩む
みんなの暮らしつながりを深めて
魅力的流域へ

③ 拠点施設を活かした情報発信

ニヶ領せせらぎ館や大師河原水防センターの拠点施設から、多摩川をより身近に感じてもらうため、市民目線で集めた情報の発信を行っています。

○ニヶ領せせらぎ館

国土交通省が管理するニヶ領宿河原堰管理事務所の一部を、防災活動、自然環境、歴史や文化の情報発信・環境学習の拠点として、川崎市とNPO法人多摩川エミュージアムが協働で管理運営する施設です。

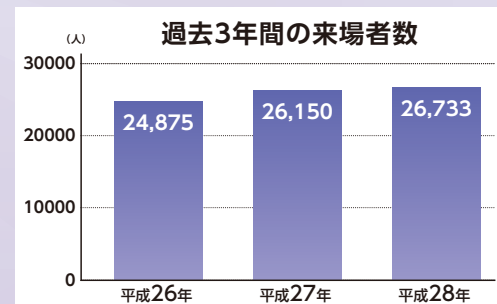
所在地：多摩区宿河原1-5-1

T E L : 044-900-8386

アクセス：J R 南武線・小田急線 登戸駅下車 徒歩10分

開館日：火～日曜、祝日 10:00～16:00

来場者数：20,534人(H29年12月末)



○大師河原水防センター

国土交通省が管理する大師河原河川防災ステーションの一角にあり、多摩川の洪水時などの防災活動、自然環境、歴史や文化の情報発信・環境学習を行う拠点として、川崎市とNPO法人多摩川干潟ネットワークが協働で管理運営する施設です。

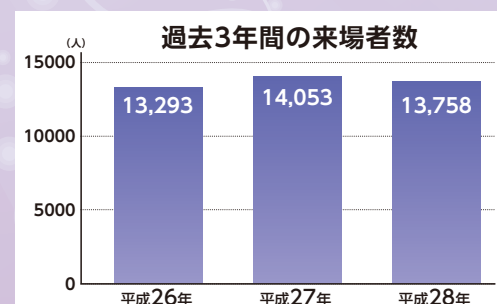
所在地：川崎市大師河原1-1-15

T E L : 044-287-7882

アクセス：京急大師線 東門前駅下車 徒歩7分

開館日：水・木・土・日曜、祝日 10:00～16:00

来場者数：9,825人(H29年12月末)



Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川 崎 市

多摩川は今
川崎市新多摩川プラン事業実施報告書
平成29年度

発行:2018(平成30)年3月

川崎市多摩川プラン推進会議

デザイン制作:株式会社東邦プラン

事務局:川崎市建設緑政局緑政部多摩川施策推進課
〒210-0007

川崎市川崎区駅前本町12-1

電話:044(200)2265

FAX:044(200)3979

E-mail:53tamasu@city.kawasaki.jp